

平成 31 年度 第 2 回 学校運営協議会

校長		副校長		教頭	
----	--	-----	--	----	--

開催日時	令和年 7 月 25 日 (木) 18 時 00 分 ~ 20 時 00 分				
場 所	秦野曾屋高等学校 東会議室				
司 会	副校長・三辻委員	記 録	家本・大谷・齋藤		
欠 席 者	中山 恭司 (つなぐ未来研究所)				

1 開会挨拶

- ・ 副校長による開会挨拶

2 委嘱状交付

- ・ 諸星前委員に代わり本校 PTA 会長である井上笑子委員が委嘱された

3 会長挨拶

- ・ 三辻委員による挨拶

4 協議

(1) SOYA アクション・プラン 2019 について (資料 2)

- ・ 教頭より SOYA アクション・プランについて説明
- ・ 資料 2 における黄色い部分を重点目標と位置付けた

(2) SOYA ターキーフェスタ 2019 に関して (資料 3)

- ・ 齋藤教諭より SOYA ターキーフェスタ 2019 (素案) について説明
- ・ ターキーフェスティバルの内容に SOYA フェスタを加えた企画である
- ・ 地域の方の発表の場とし、より多くの地域の方に来ていただくことを意識したい
- ・ ステージ発表・曾屋汁・地域の方の発表の 3 本の柱を企画の中心に据える。
- ・ 以下、質疑応答

望月委員	この企画はどのグループが中心となって運営していくのか。
齋藤教諭	SOYA サポ事務局が中心となって運営していく。ただし、この企画の前身であるターキーフェスティバルは生徒会支援グループが運営していたので、SOYA サポ事務局と生徒会支援グループで連携しつつ企画運営を行っていきたい。
望月委員	地域連携ということで、学校外のサークルや団体に発表をしてもらう等の話は出ているか。
校長	現時点では学校外の団体に声をかけたりはしていない。
三辻会長	地域住民を動員できれば、この企画も盛り上がると思う。自治会等で、こういった企画で発表できるような有名な団体はあるのか。
教頭	地域の団体が発表できるかどうかの情報が未だ無い状態なので、まずは早めにそういった情報を収集していきたい。

(3) おはよう運動の名称及び意義について（資料4）

- ・ 久保田総括教諭より説明を行った
- ・ 名称を「地域あいさつ広報活動」とする
- ・ ただあいさつをするのではなく、地域との関わりや広報ができる取組である
- ・ 学校広報ボランティアを募ることを考えている
- ・ 以下、質疑応答

三辻会長	この取組の名称が長いように感じる。略称があると親しみやすく、良いものになるのではないか。
望月委員	名称を生徒や保護者から公募してみてはどうか。
久保田 総括教諭	略称については、朝に行うあいさつ運動なので、「おはコミ」や「朝ボラ」といったものはどうだろうか。
三辻会長	学校広報ボランティアについて、何か動きはあるか。
久保田 総括教諭	まだ、動きはない。
内藤委員	秦野ロータリークラブのやまゆりの手入れをするボランティアがほしい。学校広報ボランティア制度の一環で行うことはできないだろうか。
三辻会長	釜利谷高等学校のケースでは生徒を地域に派遣している。地域貢献をしたい生徒がいれば、そういった生徒で実績を残しつつ発展していくのではないか。
内藤委員	学校広報ボランティアの生徒会組織としての位置づけはどうなるのか。部活動なのか、委員会なのか。
久保田 総括教諭	部活動や委員会のくくりでは今までと同様、特定の生徒だけが活動することになってしまうことが懸念される。
鳥海委員	厚木市の中学校ではボランティア活動部を設置している。強制ではなく、やる気のある生徒がボランティア活動をすることができる仕組みづくりをしている。

5 報告及び意見交換

(1) ボランティア・バンクに関して

- ・ 津田総括教諭よりボランティア・バンクの準備状況について説明
- ・ ボランティアのオファーと生徒のニーズのマッチングをするための仕組みを構想中である
- ・ 以下、質疑応答

内藤委員	ロータリークラブとしても、ぜひボランティアを依頼したい。
三辻会長	地域住民が小・中学校で行われる防災訓練のことを知っていたことを考えると、秦野曾屋高校の防災訓練は地域に周知されていない感がある。地域連携やボランティアのことを考えると、そういった情報も周知する必要があるのではないか。

(2) GAP に関して

- ・ 大谷教諭より GAP の実施状況について説明
- ・ 本校担当者が中山委員とやり取りを行う
- ・ 第二回目の実施は1月以降を予定している

(3) その他

- ・ 津田総括教諭より、4月から本協議会に至るまでの活動を報告
- ・ 地域連携活動は例年並みに行われており、ダンス部が多く発表活動を行っている
- ・ 以下、質疑応答

望月委員	ダンス部員は何名で活動をしているのか
大谷教諭	56名で活動を行っている
望月委員	学校来校時に見るダンス部の生徒は表情が良く、自己肯定感が高いと思う。今後もこの取り組みを続けてもらえると嬉しい。

6 その他

- ・ 副校長より今後の予定について確認を行った
- ・ 第3回学校運営協議会は12月21日を予定し、第4回学校運営協議会は3月を予定している

7 閉会挨拶

- ・ 教頭より、閉会の挨拶を行った